



ごあいさつ

公益社団法人 日本防犯設備協会
代表理事 片岡 義篤

明けましておめでとうございます。

NPO法人三重県防犯設備協会及び会員の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、平素から私ども日本防犯設備協会の業務各般にわたりまして深いご理解、ご支援を賜っていることに対し、厚く御礼を申し上げますとともに、三重県警察を始め、関係機関・団体と連携し、安全で安心して暮らせるまちづくりに多大な貢献をされていることに対し、心から敬意を表します。

さて、刑法犯の認知件数は平成14年をピークに一貫して減少しており、犯罪情勢には一定の改善が見られます。これは官民が一体となり、社会全体で様々な犯罪対策を推進してきたことなどによるものですが、同じように侵入窃盗も減少しています。

しかし住宅に対する侵入窃盗は、国民にとりまして最も身近に発生し、被害に遭う不安の高い危険な犯罪で、取締り要望の強いものです。

安全で安心して暮らせる防犯性に優れた住宅は、国民誰しもが望んでいるものです。

貴協会が取り組まれている「防犯優良アパート認定制度」や防犯カメラをはじめとする優良防犯機器・設備の普及促進事業は、正に犯罪被害の防止を図る上で効果的なものです。引き続きのご尽力をお願いする次第です。

日本防犯設備協会は、制度事業として防犯設備士養成講習・資格認定試験を行っておりますが、昨年中は貴協会にはその実施に当たり、ひとかたならぬご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで防犯設備士数も29,300名を超え、全国で活躍されております。

防犯設備士の活動拠点となる地域協会も40協会となり、ネットワークの整備が進んでいます。貴協会を始めとする地域協会の皆様とは、今後とも情報の共有を図り、一層の連携を強化してまいりたいと考えておりますので、引き続きのご指導ご支援をお願い申し上げます。

最後に、貴協会は、創立14年目を迎えられ、地域協会の中でもリーディング協会として大変立派な活動を続けられております。

今後とも更に高く飛躍、発展されること並びに会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、私の新年の挨拶といたします。

三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人



三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>

■ ご挨拶

NPO法人 三重県防犯設備協会
理事長 藤村 喜成

新しい年のご祝辞を申し上げます。

日頃はNPO法人三重県防犯設備協会の活動に、お力添えとご指導を賜り誠にありがとうございます。当協会の重要な活動の一つに、防犯設備展示・説明があります。その会場で来場された方に説明をする機会をいただき感じることがありました。

説明を聞いていただく方が、実際に空き巣などの犯罪に遭われているかそうでないかの違いの大きさです。具体的なイメージをお持ちで対策についても理解しようと一生懸命です。これを逆にとらえると、被害に遭われていない方には、防犯機器があった場合、ない場合どうか、あまりイメージできないように思いました。我々の伝え方にもっと工夫が必要ではないか、ということです。

また一方、一番効用がわかりやすいものに、硝子割り実演があります。いつもいい意味で防犯ガラスの防犯性能と一般硝子の脆弱性を目の当たりにして驚いていただいておりますが、10数年同じスタイルで実施しているので、まだまだ防犯硝子の強さが伝わっていない（一般的でない）ことの証明でしょうか。本来ならもっと知ってもらっていて、驚く人も少なくなってきたらなりません。

以上を考えて、これからの防犯設備展示・説明は、イメージしやすい防犯対策、機器の認知を広げる工夫をしていき、「自分で防犯とは、自分でできる防犯対策とは、と考える人」を増やす環境をつくれるよう、目指していきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 三重県便り（三重県環境生活部寄稿）

「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」の策定 ～アイデアを集め、アクションを広げよう～

県では、平成29年1月に策定した「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」（以下「プログラム」という。）の“意識づくり”“地域づくり”“環境づくり”の3つの基本方針に基づく、県民や事業者の皆さんを含めたさまざまな主体との「協創」による安全で安心な三重の実現に向けた取組を進めています。

このプログラムでは、県、警察、市町のみならず、県民や事業者を重要なアクション（防犯・交通安全活動）の担い手と位置づけており、プログラムのPRはもちろん、具体的に県民・事業者の皆さんに対しアクションを喚起することが何よりも大切だと考えています。

このため、平成29年7月から、市町や警察と連携し、県内各地で自治会、防犯・交通安全活動団体、事業者や大学生等の多様な主体の方にご参加いただき、地域課題や対策等について意見交換を行う「座談会」を開催し、およそ1年半かけて県内全地区（18警察署単位）での開催を終えました。



座談会(in桑名)の様子

座談会を契機に、新たなアクションを起こすようになった団体や新たなネットワークを構築した地域などが数多く確認されるなど、地域内や地域を越えた活動の促進とともに、市町と地域の絆を一層深めることにもつながったと感じています。プログラム策定から3年が経った今も、県内の刑法犯認知件数は長期的な減少傾向の中にあり、平成30年末現在で11,247件と戦後最小記録をさらに更新しました。

しかしながら、一方で、令和元年5月に発生した川崎市での児童らが登下校中に命を奪われた痛ましい事件のように県民の皆さんに強い不安を与える凶悪犯罪や子ども・女性・高齢者が被害者となる

犯罪等は跡を絶たず、県民の皆さんの不安は依然解消されていません。

こうした犯罪等への不安を払拭し、少しでも多くの県民の皆さんに安全・安心を実感していただけるよう、県は、令和2（2020）年度からスタートする、新たなプログラム（第2弾）を打ち出します。新たなプログラムは、これまで多くの県民や事業者の皆さんからいただいた知恵（アイデア）と行動（アクション）の結集であり、県民力（県民の皆さんのお力）によって、現行のプログラムから、驚くほどの進化を遂げることが出来ました。



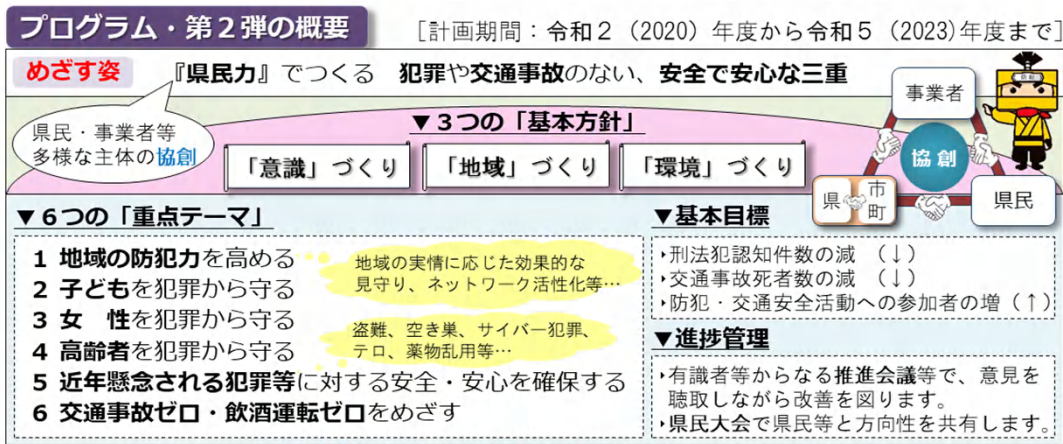


“県民”のアクション



“事業者”のアクション

このプログラムにより「オール三重」の県民運動を巻き起こしていくため、県は、市町とこれまで以上に協力・連携しながら、地域へのプログラムの周知や具体的なアクションの喚起等に注力するとともに、県民や事業者の皆さんから学んだ新たなアクションなどを、他の地域の皆さんにもお伝えしていきます。新時代「令和」の安全で安心な三重の実現をめざし、プログラムと一緒に歩む多くの皆さんのお知恵やお力をお借りしながら、皆さんと一緒にアクションを広げていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



▷ 県民や事業者の皆さんのアイデアによって、アクションの進化を図る「三重県オリジナルの計画」です…

協会の活動内容

1. 「安全・安心フェスタ まつさか」で防犯展示など啓蒙活動



ガラス破壊実演

2019年12月22日、松阪市川井町の松阪市子ども支援センター 体育室を会場に「安全・安心フェスタ まつさか」防犯設備展示・ガラス割り実演が開催されました。

当協会からは理事、事務局長、スペシャリスト等8名が参加して防犯設備の有効性等について実際に見本を使って説明いたしました。

当局要請のガラス割り実演は3回実施し、地元、松阪市に工場のある「セントラル硝子株式会社」様製の「一般ガラス」と「防犯ガラス」を参加者の方に実際にハンマーで割っていただきました。

会場には数多くの市民の皆様にご覧いただき、防犯ガラスの性能を、目の当たりにされ大変驚かれていました。

侵入盗は5分侵入を試みて侵入できなかったら70%侵入をあきらめるというデータがあります。窓からの侵入を防ぐ手段として、防犯ガラスの有効性を理解いただきました。

また、今年新たに、特殊詐欺対策用の「見張隊 新117」を防犯協会連合会様よりお借りして展示。それとともに昨今多発する交通事故対策のドライブレコーダーも新たに展示いたしました。

他にネットワークカメラ一式を塚本無線様に展示頂き複数台のカメラ、HDD+常時モニター監視のシステムを作動させて皆様にご覧いただきました。

錠前・カギのコーナーでは、閉め忘れが一目でわかる「チェッキー」・CP補助錠・マンション・一般住宅用の電気錠を展示し、実際手に取って操作いただきました。

カメラ付ドアホンの展示では、外でもスマホで状況が確認できる新製品を展示、体験いただきました。インターホンのカメラ性能が以前と違い大幅に向上し、暗いときの録画面面の鮮明さ、また広い角度をカバーする特性も説明してご理解頂きました。

平素推進している防犯優良アパート・その他簡単に設置できる防犯設備の紹介等、「備えよう安全・安心」の目的に沿った内容で各ブース展示いたしました。

今回も昨年に引き続き皆様にアンケートに協力いただき、私たちの協会の認知度、皆さんの防犯に対する意識を調査いたしました。

全体的に防犯関係に大きな関心がある松阪市民の皆様に啓蒙が出来て良かったと考えます。

今後も幅広く防犯啓蒙のお手伝い出来るよう各市町の皆様にご紹介・働きかけを行っていきます。

(宮嶋理事記)

2. 南ヶ丘自治会会合で防犯講習



講演の様様

2019年10月21日南ヶ丘地区自治会連合会に加藤理事と松林で参加し、約20分家庭の防犯をテーマに講演をさせていただきました。

前半は加藤理事により三重県の犯罪情勢や窃盗犯の侵入の手口のVTRを見ていただき、家庭防犯の重要性について確認をしていただきました。

後半には「我が家の安全チェック」シートを配布し、それぞれのご家庭で確認していただくように勧めると同時に、現在制度化を推進中の防犯優良戸建住宅認定制度についての概要の説明をさせていただきました。

最後に簡単なアンケートを取ったところ、南ヶ丘地区の自治会ではかなり防犯の意識が高く、防犯優良戸建住宅認定制度についても興味を持たれる方が多いことがわかり、また更なる防犯意識の向上につながる有意義な時間を持つことができました。

(松林理事記)

3. 松阪市の防犯優良アパートを更新審査



松阪市内の認定物件

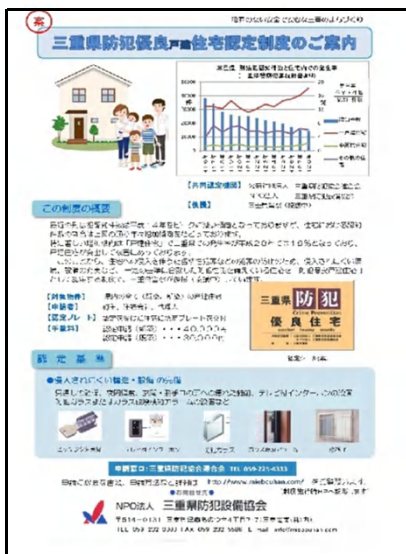
2019年7月12日松阪市において最初の認定物件である「メゾンルミエールA棟B棟」の更新審査が、建築士会より池澤邦仁氏、三防設から藤村と、積和トータルサポート池野店長の立ち合いで実施しました。

(認定の有効期間は5年間)

審査の結果、建築的に問題もなく、設備も適宜メンテナンスされていたので更新審査合格と致しました。

(藤村理事長記)

4. 防犯優良戸建住宅認定制度への取組 2



認定制度(案)のチラシ

三防設通信No24で新たに企画中の防犯優良戸建住宅認定制度への取組みをご紹介します。

三防設では、防犯優良戸建住宅認定制度の事業化に向けて制度の有効性を見極めるための試案を作成し、住宅会社へのアンケート調査を実施致しました。

今年8月から11月に亘って各理事が手持ちで地場の住宅会社を中心に訪問し、責任者に面会して24社から回答をいただきました。

アンケートは、住宅防犯に対する採用設備、それが標準的に採用されない理由、設計段階で検討され採用されている項目、認定制度に対し他にどのような利点があれば良いかなど6項目にわたりお訊ねしました。

アンケートの結果、玄関の1ドア2ロック、TV録画付インターホン、照明設備など90%が基準(案)を満たしているものの1階開口部のCPガラスは15%で、採用していないのは施主から求められていないが60%で圧倒的に多く、コストが高いは20%と意外と少ない結果となりました。

施主に提案しやすい利点を訊ねたところ、補助金対象になれば採用したい、住宅ローンの金利優遇、税制優遇、保険料の割引などの意見が寄せられました。

これらのアンケート結果を踏まえ制度化施行に向けて、三重県の安全・安心まちづくり条例の「犯罪の防止に配慮した住宅の普及」の施策実現のためにも三重県、三重県警察のご指導をいただきながら制度の実現に努力してまいります。

(事務局 加藤記)

■ 今後の活動計画

1. 防犯優良アパート認定制度の運用
2. 防犯優良マンション認定制度の運用
3. 防犯スペシャリスト制度の運用
4. 第三者検証事業の運営
5. 防犯優良戸建住宅認定の制度化検討
6. 県・県警と連携した防犯講習会開催
7. 学童の安全対策に関する調査・研究
8. 全国地域安全運動への協賛
9. 防犯優良駐車場の調査・研究

□ 関連行事・イベント・その他

1. 第14回 都道府県防犯設備士(業)協会全国大会



全国大会の様相

2019年11月16日京都平安ホテルにて第14回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会が開催され全国40地域協会の内26協会が参加、日本防犯設備協会、来賓を含め本会議出席総数93名となりました。大会には、警察庁から生活安全局生活安全企画課近藤対策官はじめ、京都府警、京都府防連から来賓として出席されました。挨拶された片岡代表理事からは防犯設備士、総合防犯設備士の現状や地域協会が長崎県の設立で40の地域協会となった。

また、当協会の目標である「認知度の向上」「社会的地位の向上」「事業環境の整備」は引き続き進めてゆくと述べられました。

続いて、警察庁、京都府警察本部からの来賓挨拶の後、本会議に入りました。

最初に日防設からの報告があり、①2018年度地域協会からの活動調査表の集計結果報告②地域協会を実施する防犯設備士更新講習の検討状況報告③地域協会設立状況と防犯設備士/総合防犯設備士登録数④RBSS(優良防犯機器認定制度)認定数などの報告と報告に対する質疑応答が行われました。

休憩の後、京都府防犯設備士協会、愛知県セルフガード協会、福岡県防犯設備士協会の3協会から協会の活動トピックスの報告があり、次回の大会予定地が千葉と紹介され第1部の本会議を終了しました。第2部の講演会は、「AI技術の最新動向と応用事例」というテーマで、三菱電機(株)情報技術総合研究所三嶋副所長様からご講演をいただきました。

第3部の懇親会は京都府防犯設備士協会の仲会長様の挨拶でスタートし情報交換を行いました。

(事務局 加藤記)

2. 日本防犯設備協会 第5回地域連絡会



地域連絡会の様相

2019年7月23日東京都港区立いきいきプラザで、全国から19地域協会24名と日防設から8名が参加して第5回地域連絡会が開催されました。最初に片岡代表から挨拶があり、今年中に地域協会を1~2県(現在40県)増やしたい、更新講習はそのメリットと事業化の見込みを見極めてスタートしたいとお話がありました。

続いて群馬、埼玉、山梨、三重、大阪、広島、福岡の7地域協会から報告が行われました。

当協会からは、新規事業への取組みとして「防犯優良戸建住宅認定制度」を紹介、大手住宅会社や地場の中小建築会社へアンケートにより制度に対する反応の調査について報告、埼玉からは県内自治体を巡回し防犯カメラの問合せ窓口を受託、会員増のため県内会員企業の取引先を訪問、広島では「ロックの日、盗難の日」に広島駅前での防犯啓発活動、小学校で防犯ブザー点検、福岡では新聞へセキュリティアパートの入居率が96%と大きく取り上げられあちこちから勉強会の要請が出ているなどそれぞれ工夫した新しい取組みが紹介されました。

(事務局 加藤記)

3. 令和元年度犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議

2019年5月28日、8月22日、11月18日に、犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議が3回開催され出席させていただきました。

来年度からの「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」第2弾をスタートする準備の一年として、いろいろな素晴らしい提案がなされ、また意見交換もされました。

(詳細はこの三防設通信に三重県環境生活部より寄稿いただいておりますのでそちらをご参照ください。)

来年3月、新プログラムの第2弾キックオフイベントが開催されます。

当協会も引き続きアクションプログラムを参考に連携を深めて事業を進めていきたいと思っております。

(藤村理事長記)

4. 愛知県セルフガード協会総会に出席

2019年6月14日KKRホテル名古屋において愛知県セルフガード協会第18回総会が開催され、来賓として藤村が出席いたしました。

愛知県警生活安全部渡辺部長より、県内住宅侵入1月から35%減 現在ワースト3で推移しているとの報告がありました。

セルフガード協会の活動の中で「防犯アドバイザー」の役割に対する評価が高く、地域との連携も進んでおり、活動の効果が確実に出てきていると感じられました。

今後当協会でも参考にさせていただきたいと思っております。

(藤村理事長記)

商品紹介・一口メモ

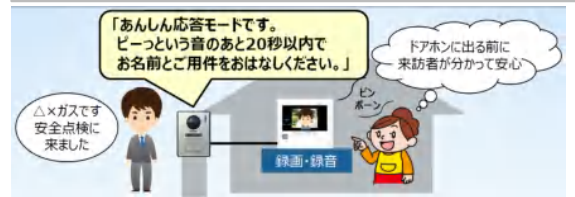
(三防設通信発送時 カatalog、チラシを同封しております)

・パナソニック株式会社

新製品 テレビドアホン VL-35UXL

非常ボタン対応(音と音声と光でお知らせ)

見知らぬ来訪者にはドアホンが応答する「あんしん応答」



非常ボタンが押されると
 モニター親機 : 音+音声+表示でお知らせ
 玄関子機 : 音+音声+LEDライトでお知らせ

来訪者の呼び出しに、名前と要件を訪ねるメッセージ留守中 来訪者の要件などを自動的に録画・録音

[特徴]

- ①非常ボタン機能 **NEW** 専用キーを配置し、非常時でも安心 玄関子機から音と光で屋外に知らせる
- ②あんしん応答機能搭載 来訪者には「応答メッセージ」で要件事前確認
- ③SDメモリーカード(別売)対応 1件約30秒の動画・録音を最大3,000件録画可能
- ④外にも火災警報機能 火災警報器発報時カメラ玄関子機から警報音・音声・LEDライト点滅で家外にお知らせ

・美和ロック株式会社

自動施錠型テンキーカードロック(電池式) TK5LTシリーズ

非住宅向けの自動施錠型スタンドアロン電池錠です。カードとテンキー(暗証番号)で認証モードが選べ登録ID数は1,000件まで可能(カード利用の場合)ですので、社員証と入館証を兼ねることも可能です。



カード、テンキー、メカニカルキーの3通りで解錠が可能です。カードはFeliCaとMIFARE®が利用可能。

お問い合わせは美和ロックサービス代行店までご連絡ください

* TK5LT-URL
https://www.miwa-lock.co.jp/tec/products/smartlock/sl_tk5lt.html

会員紹介

- ・会員動向
 新入会員 0名 退会 0名
- ・会員プロフィール紹介



名 掃部 紀彦 NPO法人 三重県防犯設備協会 会員
 総合防犯設備士 第19-0408号
 住所 〒515-1412 三重県松阪市飯南町向粥見2960番地3
 勤務先 シャープ株式会社
 電話 090-3039-9309
 E-mail RXA04107@nifty.ne.jp
 趣味 サバイバルゲーム、料理

この度皆様方のご協力や応援をいただき総合防犯設備士に無事、合格いたしました。安全で安心な街づくりに貢献できるように、頑張っていきたいと思っております。

- ・会員の掃部紀彦、松吉謙吉 両名が総合防犯設備士に合格 三重県では総合防犯設備士が9名となりました。

事務局からのご連絡

- ・次回発行予定 三防設通信は第26号を2020年8月にお届けの予定です。
 - ・今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。メール/ info@miebouhan.com または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。
- 編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0131 三重県津市あかつ台4-7-7 (三重電業(株)内)
 TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586